

十市前浜 海岸漂着ごみ組成調査

1. 業務概要

【目的】

- 高知県内の海岸において、長期的に継続して漂着ごみの組成や存在量の実態を把握し、発生抑制策等を検討する際の基礎資料とする。

【調査方法】

- 調査は環境省「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン」に基づき調査を実施した。

【業務範囲と調査地点】（図 1-1）

- 過年度の高知市桂浜(東浜)から南国市十市前浜に変更して実施した。

【今年度から調査地点を変更した経緯】

- 桂浜では、コロナ禍明け（令和 3 年）以降、清掃回数増に伴い、調査対象となるごみの量が減少。
- 桂浜は、浦戸湾内と外洋の両方からごみが集まる特性があるため、桂浜と同様の特性を持ち、かつ引き続き経年変化を調査し、発生抑制策等検討の基礎資料とできる地点として十市前浜が選定された。

【調査実施日】

- 令和 7 年 12 月 9 日に実施した。

2. 調査結果（令和 7 年度の漂着物の分類結果及び過年度との比較）

【2 分類（自然物と人工物）での比較】（図 2-1～図 2-2）

- 令和 7 年度の回収ごみは、個数では人工物が多く、容積及び重量では自然物が多かった（図 2-1）。
- 令和 7 年度の個数、容積及び重量を高知市桂浜（東浜）における過年度の結果（令和 2 年度はコロナ禍に伴う行動制限により、清掃活動の頻度が低下したため除く）と比べると、自然物が相対的に多く、人工物は相対的に少なかった。この要因として、令和 7 年 7 月に十市前浜で行われた一斉清掃では、人工物のみ回収し自然物を放置していること、また、一斉清掃後には台風等による降雨や波浪等の影響が小さく、海岸に打ち上げられる漂着ごみが少なかったことなどが考えられる。
- 自然物と人工物の割合は、各年とも個数では人工物、容積と重量では自然物が多く、桂浜と十市前浜海岸における 2 分類別の組成に大きな変化は見られなかった（図 2-2）。

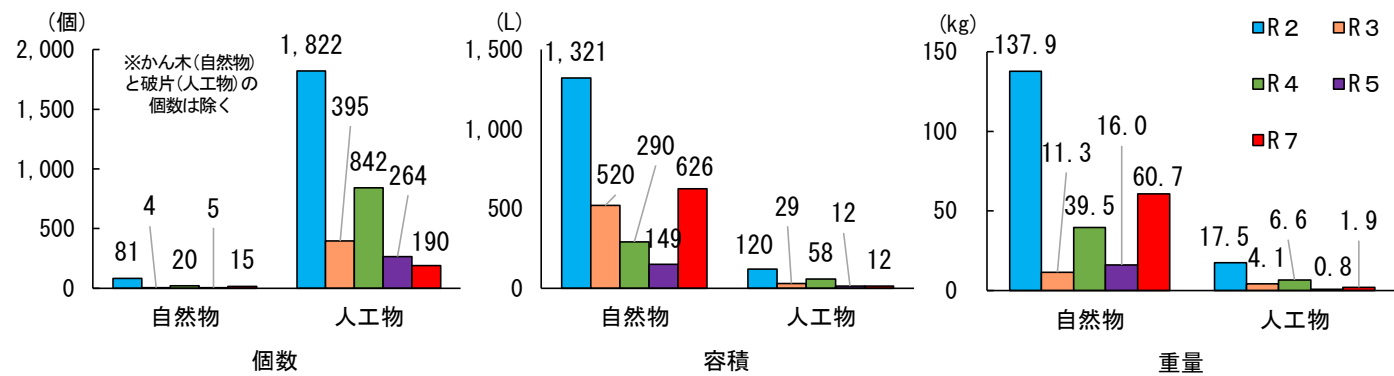


図 2-1 各年度の自然物と人工物の個数、容積及び重量（R2～6 年度は桂浜（東浜）、R7 年度は十市前浜で実施）

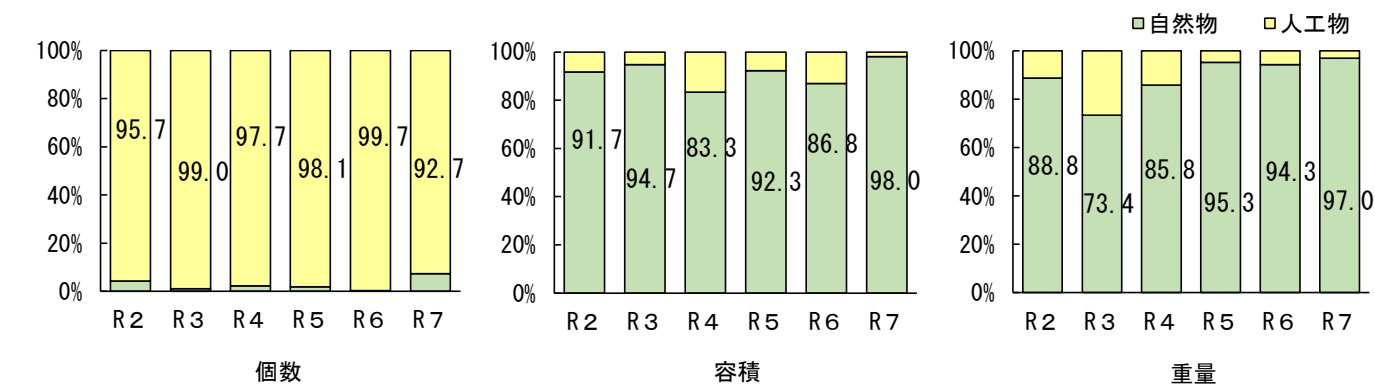


図 2-2 各年度の自然物と人工物の割合（R2～6 年度は桂浜（東浜）、R7 年度は十市前浜で実施）

R7 年度調査結果

【人工物の大分類別の組成】（図 2-3）

- 令和 7 年度の人工物の組成を見ると、個数ではプラスチックの割合が高かった。容積ではプラスチックが約 5 割を占め、金属、発泡スチロールがそれぞれ約 2 割、木（木材等）が約 1 割となった。重量では金属が約 5 割と最も高く、プラスチックが約 3 割、木（木材等）が約 1 割となった。
- 令和 3～6 年度の桂浜における結果と比較すると、過年度と同様に個数、容積及び重量でプラスチックや木（木材等）の割合が概ね高かった。また、今年度固有の特徴として容積及び重量では見かけ容積と比重の大きい金属が高比率であった。

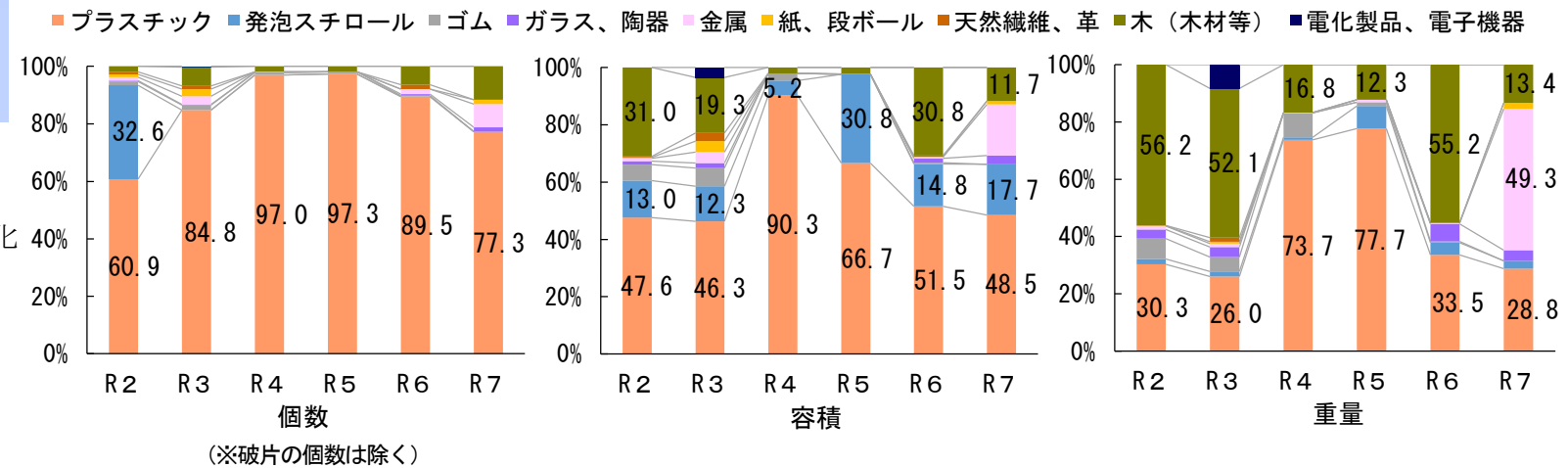


図 2-3 各年度の人工物の大分類別の組成（R2～6 年度は桂浜（東浜）、R7 年度は十市前浜で実施）

【プラスチックと発泡スチロールの分類】（図 2-4）

- 令和 7 年度に回収された人工物のうち、プラスチックと発泡スチロールを「容器包装」、「製品」、「海域由来」、「品目による」、「その他」の 5 項目に分類すると、個数では「品目による」と「製品」、容積では「その他」と「品目による」、重量では「品目による」と「その他」の割合が概ね高く、令和 3～6 年度の組成と大きな変化は見られなかった。

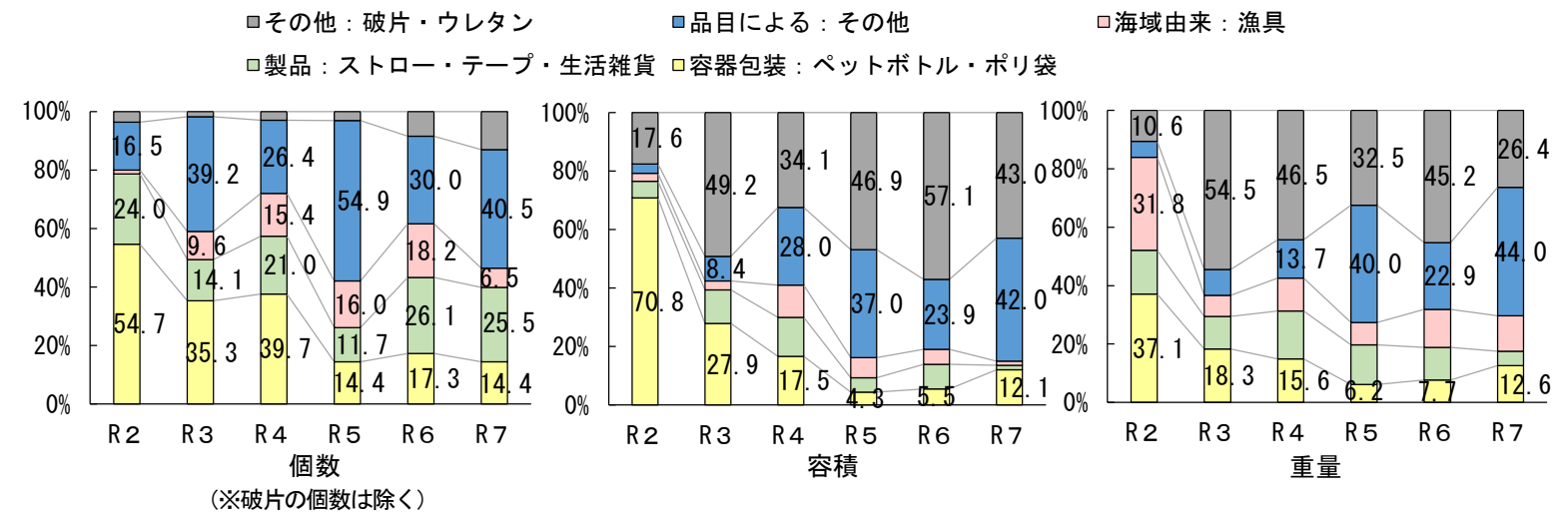


図 2-4 各年度のプラスチックと発泡スチロールの分類（R2～6 年度は桂浜（東浜）、R7 年度は十市前浜で実施。）

【言語表記による分類】

- 人工物 190 個のうち、外国語表記のごみとして漁業用の浮子や飲料、菓子類、生活用品の容器等の計 6 点が確認された。その内訳は中国・台湾（漢字）表記が 5 点、英語表記が 1 点であった。



漁業用の浮子
（中国・台湾表記）



その他 容器等
（中国・台湾、英語表記）

漂着物の分類別調査結果一覧表

(R2～6 年度は桂浜(東浜)、R7 年度は十市前浜で実施)

個数 (個)

	プラスチック	発泡スチロール	ゴム	ガラス、陶器	金属	紙、段ボール	天然繊維、革	木 (木材等)	電化製品、電子機器	自然物
令和2年度	1,109	594	23	6	23	17	15	35	0	81
令和3年度	334	0	7	1	11	10	4	26	1	4
令和4年度	817	0	7	0	2	0	0	16	0	20
令和5年度	257	0	2	0	0	0	0	5	0	5
令和6年度	307	0	1	2	6	0	5	22	0	1
令和7年度	153	0	0	3	16	3	0	23	0	7

容積 (L)

	プラスチック	発泡スチロール	ゴム	ガラス、陶器	金属	紙、段ボール	天然繊維、革	木 (木材等)	電化製品、電子機器	自然物
令和2年度	56.85	15.50	6.67	1.40	1.25	0.35	0.40	37.10	0.00	1321.00
令和3年度	13.16	3.50	1.80	0.50	1.09	1.10	0.80	5.50	1.00	520.20
令和4年度	52.44	3.00	1.45	0.00	0.01	0.00	0.00	1.20	0.00	290.00
令和5年度	8.33	3.85	0.01	0.00	0.01	0.00	0.00	0.29	0.00	269.22
令和6年度	16.73	4.80	0.15	0.50	0.15	0.04	0.11	10.00	0.00	211.00
令和7年度	6.03	2.20	0.00	0.38	2.22	0.15	0.00	1.46	0.00	626.00

重量 (kg)

	プラスチック	発泡スチロール	ゴム	ガラス、陶器	金属	紙、段ボール	天然繊維、革	木 (木材等)	電化製品、電子機器	自然物
令和2年度	5.28	0.34	1.24	0.56	0.20	0.03	0.00	9.82	0.00	137.90
令和3年度	1.06	0.07	0.21	0.14	0.05	0.02	0.06	2.13	0.34	11.30
令和4年度	4.83	0.06	0.56	0.00	0.00	0.00	0.00	1.10	0.00	39.54
令和5年度	0.61	0.06	0.01	0.00	0.01	0.00	0.00	0.10	0.00	29.30
令和6年度	1.13	0.14	0.01	0.21	0.01	0.00	0.00	1.86	0.00	50.15
令和7年度	0.55	0.05	0.00	0.07	0.95	0.04	0.00	0.26	0.00	60.70

	個数					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
容器包装：ペットボトル・ポリ袋	830	118	307	37	53	22
製品：ストロー・テーブ・生活雑貨	365	47	162	30	80	39
海域由来：漁具	18	32	119	41	56	10
品目による：その他	250	131	204	141	92	62
その他：破片・ウレタン	55	6	25	8	26	20

	容積 (L)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
容器包装：ペットボトル・ポリ袋	51.2	4.7	9.2	0.5	1.2	1.0
製品：ストロー・テーブ・生活雑貨	4.1	1.9	7.4	0.6	1.8	0.1
海域由来：漁具	1.9	0.5	6.1	0.8	1.1	0.1
品目による：その他	2.3	1.4	14.8	4.5	5.2	3.5
その他：破片・ウレタン	12.7	8.2	18.0	5.7	12.3	3.6

	重量 (kg)					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
容器包装：ペットボトル・ポリ袋	2.08	0.21	0.73	0.04	0.0987	0.0763
製品：ストロー・テーブ・生活雑貨	0.84	0.13	0.80	0.09	0.1409	0.0298
海域由来：漁具	1.79	0.08	0.55	0.05	0.1661	0.0728
品目による：その他	0.31	0.10	0.64	0.27	0.2919	0.2657
その他：破片・ウレタン	0.60	0.62	2.17	0.22	0.5764	0.1592